第8回草加市都市計画マスタープラン外部検討委員会

会議録

- 1 日 時 令和7年8月18日(月)午前10時00分から正午まで
- 2 場 所 草加市役所本庁舎 7階会議室 7A (ウェブ会議方式併用)
- 3 出席者 【委 員】8名

(会場) 6名

小泉委員、榎本委員、小勝委員、後藤委員、豊田委員、宮地委員

(Web会議) 2名

岡村委員、廣井委員

【事務局】8名

(都市整備部 都市計画課) 馬場課長、牛島課長補佐(兼) 係長、手島主事、長島主事、 綱河主事

- 4 会議次第 (1) 開 会
 - (2) 議事都市計画マスタープラン中間見直しについて
 - ・第1章 全体方針について
 - ・第2章 地区別方針について
 - ・第3章 実現化方策について
 - (3) その他
 - (4) 閉 会
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者数 0名
- 7 会議概要 都市計画マスタープランの各章の修正内容(市街化調整区域に関するものを除く)について説明し、 意見聴取をした。
- 8 会議内容

発言者	発 言 内 容
事務局	【開会】
事務局	それでは定刻になりましたので、ただいまから第8回草加市都市計画マスタープラン外部検討
	委員会を開催します。
	委員会開催に先立ちまして、都市計画課長の馬場よりご挨拶申し上げます。
事務局	【都市計画課長挨拶】
事效已	今回の署名委員は後藤委員と宮地委員にお願いします。
事務局	続いて傍聴人についてですが、いらっしゃいません。
事務局	【説明】第1章 全体方針について
委員長	今の説明について、ご質問やご意見はありますか。
委員	資料14ページの歩きたくなるまちづくりについて、歩く空間だけでなくベンチなどの休憩で
	きる空間を確保することが重要だと思います。ベンチや休憩場所の設置などのキーワードがある
	と良いと思います。
	また、資料15ページの公共交通網の構築に関連する内容で、バス停の場所の位置がもう少し

近ければ良いという声を市民から、特に高齢者の方からいただいており、このような位置の調解などができるようになると、誰もが利用しやすい公人交通網の特殊につながると感じました。バス停の移動はなかなか乗しいとも開いているので、計画への記載が困難であれば、記載できなくても構いません。 次に、資料16ページのグリーンインフラについて、身近なみどりに触い合うことのできる拠点として、例えば市民農園などのキーワードあると良いと思います。農地や緑地の確保や活用という文言では一般の力の馴染みがないので、イメージしやすいキーワードがあると分かりやすくなると思いました。 最後に、資料18ページの作宅のセーフティネットの情楽について、公営作宅にある既存の住民コミュニティの維持という観点も重要だと思います。公営住宅の地で替えは、建設だけではなく、人間関係も変わってしまいます。ハードのインフラについての記載だけでなく、いわゆるソフトの人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思いました。 1 点目のペンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現代の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつろぎ、多様な活動を繰り返りることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてペンチの設置などというキーワードを沿記したいと思います。 2 点目の公共交通網の情報について、パス停の位置の乗替を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境の特殊も重要な要素でよので、パス停の位置の乗替を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3 点目の外質性をの地で構造しまりますの重要性を示したいと思います。 4 点目の外質性をの地で替えの家の住民コミュニティについて、現行計画ではよのことに関して記録できていないため、修正の検討ないたします。 資料11ページの歴以対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページのが差対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページのが差対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページのが差対策について、内が記らんと外が記らんとでが強がなか見いたと思います。 本書が策について、担意観に確認したところ、本市の内水池らんとで遊離行動が違っていまりので、文言は統一した方が良いと思います。 本書が策について、担意認定を記念していますが、草加市へザードマップでは特定整臓所と記念したところ。本書の内水池ので、文言は統一しいますが、草加市へがサードマップで対策を施力で必要がありますが、草加市へが中についませ続いることから記載が容を区別しています。		
ス停の移動はなかなか難しいとも聞いているので、計画への急速が困難であれば、記載できなくても構いません。 次に、資料16ページのグリーンインフラについて、身近なみどりに触れ合うことのできる拠点として、例えば市民機園などのキーワードあると良いと思います。農地や穀地の確保や活用という文言では一般の力の馴染みがないので、イメージしやすいキーワードがあると分かりやすくなると思いました。 最後に、資料18ページの住宅のセーフティネットの構築について、公営住宅にある既存の住民コミュニティの維持という観点も重要だと思います。公賞住宅の建て替えは、建物だけではなく、人間関係も変わってしまいます。ハードのインフラについての記載だけでなく、いわゆるソフトの人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思いました。 1点目のベンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正祭では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつるぎ、多様が活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2点日の公共交通網の構築について、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民命地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の力がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公告は生の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの実実対策について、地處が災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に高致されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、地域が投いと思います。 本書対策について、担当線に確認していますが、草加中ハザードマップでは指定整備がと記載していますが、草加中ハザードマップでは指定避難所と記載していますが、草加中ハザードマップでは指定避難所と記載したところ、本市の内水池らんは大規模な浸水被害は想定されることかれておらず、一力で外水池らんでは大規模な浸水被害が見います。		近ければ良いという声を市民から、特に高齢者の方からいただいており、このような位置の調整
でも構いません。 次に、資料16ページのグリーンインフラについて、身近なみどりに触れ合うことのできる拠点として、例えば市民農園などのキーワードあると良いませ。農地や緑地の確保や活用という文言では一般の方の馴染みがないので、イメージしや中、中・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・		などができるようになると、誰もが利用しやすい公共交通網の構築につながると感じました。バ
次に、資料16ページのグリーンインフラについて、身近なみどりに触れ合うことのできる拠点として、例えば市民農園などのキーワードあると良いと思います。 農地や緑地の確保や活用という文言では一般の方の馴染みがないので、イメージしやすいキーリードがあると分かりやすくなると思いました。 最後に、資料18ページの住宅のセーフティネットの構築について、公営住宅にある既存の住民コミュニティの維持という観点も重要だと思います。公営住宅の建て替えは、建物だけではなく、人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思いました。 1点目のベンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつるぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを心記したいと思います。 2点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当業に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一力で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの素の歌の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 次に、資料12ページの水舎対策に良いと思います。 次に、資料12ページの水舎対策について、内水心らんと外水心らんとで避難行動が違っているのはなぜでしようか、また、修正案では指定遅離新と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水舎対策について、担当器に確認したところ、本市の内水心らんは大規数な浸水被害は想定されることかれておらず、一方で外水心らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることかれておらず、一方で外水心のので、文言は統一した方が良いと思います。		ス停の移動はなかなか難しいとも聞いているので、計画への記載が困難であれば、記載できなく
点として、例えば市民農園などのキーワードあると良いと思います。農地や緑地の確保や活用という文言では一般の方の馴染みがないので、イメージしやすいキーワードがあると分かりやすくなると思いました。 最後に、資料18ページの住宅のセーフティネットの構築について、公営住宅にある既存の住民コミュニティの維持という観点も重要だと思います。公営住宅の建て替えは、建物だけではなく、人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思いました。 1点目のベンチの設置等のキーワードについては道記していきたいと思います。現行の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつるぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすいよりの最近やおことに会しておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討ないたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水池らんと外水池らんとで避難行動が違っているのけなぜでしょうか。また、修正案では指定繁急が強力と記載していますが、卓加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した力が良いと思います。		ても構いません。
いう文言では一般の方の馴染みがないので、イメージしやすいキーワードがあると分かりやすくなると思いました。 最後に、資料18ページの住宅のセーフティネットの構築について、公営住宅にある既存の住民コミュニティの維持という観点も重要だと思います。公営住宅の建て替えは、建物だけではなく、人間関係も変わってしまいます。ハードのインフラについての記載だけでなく、いわゆるソフトの人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思いました。 1点目のベンチの数置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつるぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の構築について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思いまオータにのの管体をの様で替えの際の住民コミニニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしようか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しています。		次に、資料16ページのグリーンインフラについて、身近なみどりに触れ合うことのできる拠
なると思いました。 最後に、資料18ページの住宅のセーフティネットの構築について、公営住宅にある既存の住民コミュニティの維持という観点も重要だと思います。公営住宅の建て替えは、建物だけではなく、人間関係も変わってしまいます。ハードのインフラについての記載だけでなく、いわゆるソフトの人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思いました。 1点目のペンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつろぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてペンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2点日の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の位置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点日の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域が災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水池らんと外水池らんとで避難行動が違っているのはなぜでしまうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文書は続一した方が良いと思います。 本書対策について、担当課に確認したところ、本市の内水池らんは大規模な浸水被害は想定されることかれておら、アーカで外水池らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることかれておら、アーカで外水池の内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内		点として、例えば市民農園などのキーワードあると良いと思います。農地や緑地の確保や活用と
最後に、資料18ページの住宅のセーフティネットの構築について、公営住宅にある既存の住民コミュニティの維持という観点も重要だと思います。公営住宅の建て替えは、建物だけではなく、人間関係も変わってしまいます。ハードのインフラについての記載だけでなく、いわゆるソフトの人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思いました。 1点目のペンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくっろぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてペンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の結り方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 本書対策について、担当課に確認したところ、本市の内水池らんは大規模な浸水被害は想定されておらず、一方で外水池らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所、の避難も想定されることかれておらず、一方で外水池らんでは大規模な浸水被害は想定さ		いう文言では一般の方の馴染みがないので、イメージしやすいキーワードがあると分かりやすく
民コミュニティの維持という観点も重要だと思います。公営住宅の建て替えは、建物だけではなく、人間関係も変わってしまいます。ハードのインフラについての記載だけでなく、いわゆるソフトの人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思いました。 1 点目のペンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつろぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2 点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3 点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい。具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4 点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。また、修正案では指定整治が難らと記載していますが、草加市ハザードマップでは指定整難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定整難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定整難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定整難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定整難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定整難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定整理がそればらませいだけではないでは見いますが、草加市ハザードマップでは指定を難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定整理が多い。また、修正案では指定を発売が悪いと思います。		なると思いました。
く、人間関係も変わってしまいます。ハードのインフラについての記載だけでなく、いわゆるソフトの人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思いました。 1 点目のペンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつろぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2 点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3 点目のグリーンインフラについて、内容を検討したいと思います。 3 点目のグリーンインフラについて、内容を検討したいと思います。 また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4 点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域が災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定さ		最後に、資料18ページの住宅のセーフティネットの構築について、公営住宅にある既存の住
フトの人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思いました。 1 点目のベンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつろぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2 点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3 点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4 点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域が災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水泡らんと外水泡らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水舎対策について、担当課に確認したところ、本市の内水泡らんは大規模な浸水被害は想定されることか、水舎対策について、担当課に確認したところ、本市の内水泡らんは大規模な浸水被害は想定されることか		民コミュニティの維持という観点も重要だと思います。公営住宅の建て替えは、建物だけではな
ました。 1 点目のベンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくっろぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2 点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4 点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水池らんと外水池らんとで避難行動が違っているのはなせでしょうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しています。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水池らんは大規模な浸水被害は想定されることかれておらず、一方で外水池らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		く、人間関係も変わってしまいます。ハードのインフラについての記載だけでなく、いわゆるソ
1点目のベンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正案では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくっろぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水池らんと外水池らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水池らんは大規模な浸水被害は想定されておらず、一方で外水池らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		フトの人間関係や住民コミュニティ、自治会を維持するというキーワードを入れてほしいと思い
では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつろぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定膨難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		ました。
るぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設置などというキーワードを追記したいと思います。 2点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されることか事務局		1 点目のベンチの設置等のキーワードについては追記していきたいと思います。現行の修正案
置などというキーワードを追記したいと思います。 2 点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3 点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4 点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		では公共空間の活用としてまとめてしまいましたが、歩きたくなるまちづくりでは、集いやくつ
2点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		ろぎ、多様な活動を繰り広げることなどの要素が重要ですので、具体的なものとしてベンチの設
事務局 個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されることかれておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		置などというキーワードを追記したいと思います。
事務局 用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。 また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されることか事務局		2点目の公共交通網の構築について、バス停の位置の柔軟な対応は、担当課に確認したところ、
事務局 しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。 また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されることか事務局		個別具体的な側面が強く、希望どおりなることが難しいのが実情のようです。一方で、誰もが利
しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。 3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載がありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されることか事務局	車数目	用しやすい環境の構築も重要な要素ですので、バス停の配置の実情を踏まえた上で、誰もが利用
ありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。 また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されることか	于 7万/円	しやすい環境のあり方について、内容を検討したいと思います。
また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワードを追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。 また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されることかれておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		3点目のグリーンインフラについて、現行計画では民有地の緑地や樹木の管理と保全と記載が
を追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。 4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。		ありますが、市民農園などの市民の方がイメージしやすい具体的なキーワードが入っておらず、
4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関して記載できていないため、修正の検討をいたします。 資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。 また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		また草加市は緑が少ないという課題もありますので、ご意見のとおり、市民農園等のキーワード
で記載できていないため、修正の検討をいたします。		を追加することで分かりやすさとともにみどりの重要性を示したいと思います。
資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。 また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		4点目の公営住宅の建て替えの際の住民コミュニティについて、現行計画ではこのことに関し
書が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。 また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		て記載できていないため、修正の検討をいたします。
変員 次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違っているのはなぜでしょうか。 また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		資料11ページの震災対策について、地域防災計画で想定している東京湾北部大地震以上の被
委員 るのはなぜでしょうか。 また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定されておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		害が発生した場合に言及されるのは非常に良いと思います。
るのはなぜでしょうか。 また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所 と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定さ れておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		次に、資料12ページの水害対策について、内水氾らんと外水氾らんとで避難行動が違ってい
と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。 水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定さ 事務局 れておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか	安貝	るのはなぜでしょうか。
水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定さ 事務局 れておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		また、修正案では指定緊急避難所と記載していますが、草加市ハザードマップでは指定避難所
事務局 れておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか		と記載しているので、文言は統一した方が良いと思います。
イル C40 9 / C / Mile 970 Cts/ Will 大 St文 / N IX 日 A L O E X II	事務局	水害対策について、担当課に確認したところ、本市の内水氾らんは大規模な浸水被害は想定さ
ら記載内容を区別しています。		れておらず、一方で外水氾らんでは大規模な浸水被害が生じ避難所への避難も想定されることか
		ら記載内容を区別しています。

	他の自治体では内水氾らんの場合も、近隣の建物へ避難するという内容を記載しているところ
委員	が多く、また、最近では線状降水帯などの気候変動で激しい降雨の発生も多くなってきたため、
	内水氾らんの記載の変更を検討してほしいと思います。
委員長	危機管理部局と調整して、修正を検討してください。
	地域防災計画では、厳しい基準を考える方向に見直す方が良いと思います。
	1つ目は、みんなでまちづくり自治基本条例の見直しの中で若い世代の力を生かしたまちづく
	りをどのように考えるかという議論がありました。都市計画マスタープランでは、多世代交流推
	進モデル地区に関連性があると思いますが、この視点を今回の見直しの中でも検討した方が良い
	のでなないかと考えています。草加市でも若い世代を対象としたイベントを開催するなど、様々
	な取り組みをしていると伺っていたので、反映されてもよかったのかなと思いました。自治基本
	条例の見直しでは、そもそも交流できる場所が減少しており、公民館はルールなどがあり利用し
	にくいという意見がありました。そのため、例えば、公共空間内を工夫して交流できる場所をつ
	くるなど、交流拠点を増やしていくという視点も検討してほしいと思いました。
	2つ目は高齢社会の観点について、団塊世代が後期高齢者になりこれから免許返納など出てく
	ると思います。そのため、公共交通網の構築や歩きたくなるまちづくりが非常に重要な要素にな
	ると思います。先ほどの意見と同様に、公共空間の歩行者空間の活用をにぎわい交流エリアなと
委員	に限定するのではなく、市内全域で進めてほしいと思います。また、バス停の件についても、昨
安只	今の猛暑では待つだけでも辛いと思いますので、これらの視点を含めてこれから5年、10年く
	らいの間検討すべき事項であるため、計画にも記載する必要があると思います。これからのシニ
	ア層は元気なので初めはバスの利用は少ないと思いますが、今後どこかでバス乗らないといけな
	い時期が来るので長期的な視点をもつ必要があります。現在はバス利用者が少なくとも、バス路
	線やバス数を減らすという判断は適切ではないかもしれません。例えば、介護保険における訪問
	サービスのためバス路線を維持するという考えもあるため、介護予防の目的で福祉の予算から公
	共交通網の維持のための費用支出を行うなど、全体を戦略的に考えることが求められるのではな
	いかと思いました。歩きたくまちづくりなど、まだ元気である前期高齢者を想定していると思い
	ますが、徐々に身体能力が低下する人たちが増えてくることをという想定しておくことが重要だ
	と思いました。そのため、バスなどの公共交通機関の利用者は将来的に急増することが予想され
	るので、それまでの期間を含め適切に公共交通機関を維持するというように、方針を明確にして
	おいた方が良いと思います。
事務局	1点目の若い力を生かしたまちづくりつきまして、獨協大学駅前西側地区で30、40代の地
	域住民の方を中心に地域のまちづくりを進めているところもありますが、一方で市内全域におい
	て若い世代のまちづくりが浸透しておりません。本市の都市計画マスタープランはコミュニティ
	まちづくりを重視しておりますので、記載内容を見直したいと思います。
	2点目の後期高齢者が今後増加することを想定した施策展開つきまして、ご意見を踏まえて、
	今後、後期高齢者の増加を前提としてどのように取り組むかについて、関係部署と協議したいと

思います。

委員	資料9ページの氷川町土地区画整理事業の見直しについて、なぜ50年も事業ができなかった
	理由を検証するべきだと思います。
	また、交通不便地域について、私も交通不便地域に住んでいるので実情よく分かりますが、バ
	ス路線を通すだけで、利便性を向上する取り組みも必要だと思います。
	土地区画整理事業の検証について、説明では割愛していましましたが、平成29年度から事業
事務局	化に至ってなかった理由の検証をしています。その後、令和元年度、4~6年度に地域住民を対
	象とした説明会、勉強会を開催しました。事業化に至らなかった理由として地域の合意形成が得
	られなかったこと、相続に伴う所有者関係の複雑化によりさらに合意形成が困難になったことが
	あります。これらの背景を踏まえ、地域全体での実施が難しいことから、土地区画理性事業以外
	の方法で地域の課題解決、地域の価値向上するための内容を検討すると説明しています。
	地域の状況が分からないので教えてください。ある程度の都市基盤は整っているのか、それと
委員	も基盤整備は十分ではないが土地区画整理事業の実施が困難なので別の方法を検討しているの
	でしょうか。
	耕地整理を実施した地区のため、ある程度の都市基盤は整っておりますが、幅員 4mで歩道が
事務局	ない道路が多い状況です。また、歩行者や自転車利用者も多く、見通しの悪い危険な交差点も多
	くあります。
术 吕	長期間事業に着手できなかった理由を精査しないと、他の土地区画整理事業を実施する際に計
委員	画どおりに進まない可能性が出ると思います。
事務局	本地区では、駅周辺は土地区画整理事業が完了しており、ある程度の駅へのアクセスが維持さ
	れているという状態も地域の合意がなかなか進まなかった原因の一つではないかと考えていま
	す。
委員長	本来、土地区画整理事業は郊外や農地を新規開発するときに実施されることが多いですが、日
	本は関東大震災の後、震災復興で既成市街地において土地区画整理事業を活用したという経緯が
	あったため、同じように既成市街地を対象に土地区画整理事業を実施する地区が増加しました。
	一方で、土地区画整理事業を実施することで、住人が補償金等の金銭をもらえるため、別のよ
	り良い地区に移ってしまうということも発生します。中期的に人口減少や高齢化が進展すること
	を前提に考えると、氷川町のようにある程度多くの住人がいて、駅や道路など最低限の都市基盤
	があることを考慮すると、土地区画整理事業を廃止し都市計画道路事業は実施するという方法は
	総合的に見て有効なものの一つと考えます。おそらく事業決定した当初は、道路幅員6m以上と
	することで自動車も利用しやすくなるなどを想定していたと思いますが、現在のまちづくりで
	は、むしろ車利用ではなく、徒歩や自転車を中心としたまちづくりを実施することを指向してお
	り、幅員4mであれば、交通制御をすることで自動車がスピードを出せず歩行者が安全に歩ける
	まちにできるということもあります。つまり、わざわざ歩道を整備しなくとも、工夫次第で歩車
	共存の良い空間ができるということもあるので、様々な要素を考慮すると、事業投資の効果に対
	する市の考え方は計画決定した時と大きく異なっていると思います。現在の少子高齢化社会を考
	えると、土地区画整理事業の費用負担が大きく、事業実施による効果が十分に出ない可能性もあ

	るため、市の見直しの方針にも合理性があると思います。
委員	
	を「空き家バンク」のままとするのか「わがままハウス」に修正するのか、ご確認をお願いしま
	す。 - 1、20日 - 1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1
事務所	一般の方が見ても分かりやすい名称を記載しようと思いますが、担当部署と協議の上、決めた
	いと思います。
委員	現行計画の99ページに安心して暮らせる住まいづくりについて、高年者と子育て世代に関す
	ることがありますが、全体的に高年者と子育て世代に内容が偏りすぎているように感じます。障
	がい者の方や外国籍の方を対象とした取り組みも実施されていると思うので、この視点も追加し
	た方が良いと思います。
	いただいたご意見のとおり高年者、子育て世帯に関する内容が多いです。障がい者の方に関す
事務局	る記載もありますが、外国籍の方に関する内容はほとんど記載されていないと思いますので、検
	討します。
	歩きたくなるまちづくりを考えるときに、木陰で休める場所や活動の場所となる目的地がある
	ことが重要だと思います。歩きたくなるというのは、歩きながら景観を楽しめたり、少し休憩で
	きたり、一緒に歩いていて会話ができたりするなどの要素に加え、目的地があることと歩きやす
	いルートがつながっていることが重要だと思います。基本的には目的地は住宅地でるあとが多い
	ので、例えば様々な地域の活動の場となる学校や地域ケア施設、飲食店、カフェなどの地域の居
	場所が目的となるように歩きやすい環境を整えていくという記載が必要だと思います。一般的に
	歩きたくまちづくりはまちの中心部や商店街、地方都市ではいわゆる一番通りなどのまちの重要
	な通路や歩行者空間で注目されることが多いですが、本来歩きたくなるまちづくりはより多義的
	なものであり、地域の特性に応じて住民自身が考えるべきものだと思います。公共空間の活用は
	一つの手段ではありますが、草加市の場合は、なにをどこでどのように実施すればいいのかとい
	うことを深く検討し、熟度を高めていくべきだと思います。たしかに、中心的な資源として歴史
委員長	的な草加松原があり、その周辺を中心に公共空間を活用していくというイメージはしやすいです
	が、一つの類型にすぎないと思います。草加市全体のマスタープランとして考えるとその一地区
	では足りず、住宅地の中でむしろ楽しく歩きたくなるようなまちをどのように構築していくかと
	いうことに注目すべきだと思います。また、例えば、パリなどのヨーロッパの地方都市では 15 分
	から 20 分の移動距離内で生活できる地域を作るという考え方があります。草加市で取り組んで
	いるコミュニティ政策の中で、その地域でコミュニティの文脈に沿いながら、コミュニティの範
	囲内でどのように歩きたくなる地域づくりをするのかを検討するのが良いのかもしれません。目
	的地にたどり着くための重要なルートはコミュニティごとに異なり、きめ細やかな検討を行い、
	そのようなところを歩きやすくしていくことが、草加市におけるまさに歩きたくなるまちづくり
	になると思います。このように検討することで、世界中で取り組まれている 15 分都市のような
	発想にも近きます。逆に言うと、コミュニティ政策は15分都市より先行していた政策であり、
	歴史的に考えると、コミュニティ政策にはそもそもそうした考え方が含まれていたことから、最

近注目されているウォーカブルなまちづくりと掛け合わせることが重要だと思います。また、ウォーカブル政策は公共交通と関連性が高く、コミュニティの中で少し遠方へ移動するために自転車やバス、電車を利用し、駅からは鉄道さらに遠方で移動します。草加市でもこのような移動パターンが通常だと思うので、このことを明示した方が良いと思います。

さらに、脱炭素まちづくりについて、草加市は人口密度の高く、既にある程度コンパクトなまちが形成されているため、公共交通の充実や歩きやすく自転車が利用しやすい空間の整備をすることで自動車利用の減少につなげることができます。以上のように、歩きたくなるまちづくりと公共交通政策、脱炭素政策は連動しているため、脱炭素まちづくりの取り組みについて、徒歩や自転車、公共交通へのモーダルシフトの視点を入れるべきだと思います。

具体的な脱炭素の取り組みは建築の脱炭素化、創工ネがあります。変更案ではこれらの要素が十分ではないと思うので、内容の充実をお願いします。住宅の断熱改修について少し記載はありますが、新しい建築物に対して脱炭素化ルールを適用することも重要です。例えば、草加市も多くの戸建て住宅があるので、戸建て住宅は断熱性の高いものを使用すると記載すべきです。この他にも太陽光パネルの設置、EVカーの活用、充電施設の整備などが考えられます。戸建て住宅でこれらの取り組みを行うことで、約8割のエネルギーを確保できると考えられます。そのため、戸建て住宅の多い草加市は脱炭素まちづくりを進めやすいのではないかと思います。東京都千代田区では再生可能エネルギーを購入することで高コストになっていますが、草加市では各世帯が脱炭素へ取り組むことで脱炭素なまちに近づけると思うので、脱炭素まちづくりへの大きな枠組みが計画にも必要だと思います。このほかにもリユースや下水熱利用、水のエネルギー消費の抑制などがありますが、草加市では建築物の脱炭素化、マイカーの削減が重要だと思うので、この2つは計画に位置付けるべきだと思います。

グリーンインフラは重要なキーワードなので、内容を充実すべきです。計画では具体的施策の中でなく、基本方針の中に記載すべきだと思います。また、水とみどりのネットワークの形成ということがまさにグリーンインフラの形成そのものだと思うので、この項目にグリーンインフラの内容を深めるべきだと思います。方針のタイトルに入れるなど、強調すべき内容だと感じました。いわゆるビオトープも大事ですが、例えば、透水性のある土を多く利用し、そこから貯水できるような設備などが今後の標準になると思います。地表に土が見える状態の確保、つまり人工的なアスファルトやコンクリートの使用を最小限にする、貯水機能のある施設を整備するなどの記載が必要だと感じます。

では、第1章の質疑応答は以上とし、続きの説明を事務局お願いします。

事務局

【説明】第2章 地区別方針について、第3章 実現化方策について

委員

第2章全体を通しての意見です。サービスや取り組みが地区ごとにつながることが良いと思います。そして、それらを実施する人が地域ごとにいることが必要になります。そのため、地域ごとに各取り組みを行っている人や団体を紹介できると良いと思います。現行計画策定時では各地域の課題や将来ビジョンを考えましたが、約5年が経過したことで、新たな活動が増えた、活躍する人が来たというような変化が見えると良いと思うので提案します。この内容を明示することで、協働のまちづくりもつながるのでないしょうか。

	また、人口減少を抑制する活力と魅力のあるまちづくりの中で、子育てしやすい環境を整備す
	ることが主に記載していますが、稼ぐことや自分の才能を生かすことも魅了あるまちづくりでは
	重要な要素だと思います。子育てしやすい環境の整備だけでなく、このようなクリエイティブな
	要素があるとバランスがいいのではないかと思うので、リノベーションまちづくりの内容を入れ
	ると良いのではないかと思いました。
	資料35ページの災害対応能力の向上について、取り組みが進んでいない理由が知見不足では
	なく、取り組む内容が不明確であるからだと思います。現在は、「様々なタイプの災害や複合災
	害に対応できるように災害シミュレーションの活用やイメージトレーニングを実施する」と書い
	てありますが、災害シミュレーションの活用やイメージトレーニングを実施することで災害対応
委員	する重要なエリアと把握し、迅速な復旧対応ができるように人材育成を実施するという流れの方
	が良いと思います。また、震災復興に関する取り組みは他自治体を参考として、より具体的であ
	ると良いと思います。復興トレーニングを実施することで復興が円滑にできると読み取れて、私
	は間違っていると思うので、事前防災と復興とを明確に切り分けて記載した方が良いと思いま
	す。
事務局	ご意見を踏まえ、検討いたします。
	第3章全体について、後期高齢者が増加するという背景を踏まえて作成できているのでしょう
	か。後期高齢者の増加に対応できる公共交通、主にバスの整備が重要であり、外出できる環境を
	整えないと莫大な介護費用が発生してしまう可能性があるので、外出できる空間、体制の確保に
委員長	予防的に先行投資するという考えが重要だと思います。そして、マイカーの利用減少に多くの人
安良民	の考えを変えていかないと公共交通の事業採算も上がらないと思うので、先ほどの議論の流れを
	第3章にも落とし込んでほしいと思います。
	また、多世代近居のまちづくりは、昨今の社会的背景を踏まえると難しいのではないかと思い
	ます。
	多世代近居のまちづくりは難しいと考えています。一方で、同じ取り組み内容にある「子育て
事務局	や介護などをお互いに支えあうコミュニティが存在する」という要素は重要であるので、「多世
	代近居のまちづくり」を削除し、資料に記載したように、この内容を戦略4へ移動したいと考え
	ております。
委員	子どもや若者の声をどのように拾ってまちづくりに反映していくかという視点をぜひ記載し
女只	てほしいです。第3章の実現化方策に記載するのが良いと思います。
委員長	他にご意見なければ、本日の議事について終了します。
事務局	【その他】次回の委員会の日程調整、請求書の送付について
委員長	それでは、これを持ちまして、本日の議題はすべて終了しましたので、事務局へお返しします。
事務局	以上をもちまして、第8回草加市都市計画マスタープラン外部検討委員会を閉会します。
	お忙しい中、ご参加ありがとうございました。